

サマープログラム 体験談

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科 松本 愛未

1. サマープログラムを申し込んだ動機について

海外で英語を話さなければならないという状況で、たくさん英語に触れて、話すということに自信をつけたかったことと、大学生のうちに留学したいという思いがあったので、今回サマープログラムに参加しました。



2. 現地での語学コースについて

○参加したコース(レベル):

Art, Fashion & Design, Music Festival

○コースの内容(授業内容、良かった点、悪かった点、反省点、感想など):

1 週目は Art, Fashion & Design について学びました。内容は、イギリスのファッションや建物、ビートルズ、最終日にはファッションショーをしました。



2 週目は Music Festival についてのグループワーク、アメリカ英語とイギリス英語の違いなどを学びました。また、プレストンの街に出てフィールドワークもありました。

3 週目は、ロイヤルファミリー、スコットランドについて学び、さらにプレストン市内にある博物館でペアワークを行ったり、公園を訪れたりしました。2 週目と 3 週目は週の最後に一人一人プレゼンをしました。



日本の授業とは違って、グループワークが多くて新鮮でも楽しかったです。プレゼンもほとんどしたことが無かったので苦戦しましたが、良い経験となりました。しかし、3 週ともクラスメートは日本人だけで、ほとんど学園大の学生だったので、授業ではどうしても日本語を話してしまうのが残念でした。

○授業の一環の小旅行に対する感想:

毎週水曜日の小旅行の前日に、授業で旅行先について学ぶのでより楽しむことができました。1 週目はリバプール、2 週目はマンチェスター、3 週目ピーターラビットの聖地 Lake District に行きました。授業で話す機会がなかった他国の留学生と交流できる唯一の機会だったので、1 週目のリバプールでは他国の学生と一緒にまわりました。私が一番気に入った

場所は Lake District です。他の小旅行とは違って列車や船で移動し、自然が広がっていて心地良かったです。

3. 宿舎について(良かった点、悪かった点、感想など)

個々の部屋やキッチンが広くて快適に過ごすことができました。また、ロビーには卓球台やジェンガなどがあり、夜も楽しく過ごせました。しかし、私の部屋の窓が壊れていて閉まらなかったため、初日に修理してほしいという意思を伝え、次の日に修理すると言われたにも関わらず、最終日まで壊れたままでした。さらに、私のフロアはお風呂に入っている時に途中から水が出てくることが多く、ほぼ毎日水でシャワーを浴びていました。

洗濯代は高かったため友人と一緒にしていました。洗濯物の乾燥に関しては洗濯物の量が多いと全然乾かず、部屋干しをしても全然乾かなかったため一人ずつでしていました。



4. 現地での生活全般について

寮の近くにコンビニやスーパーがあり、生活する上で必要なものは大体揃えることができました。テイクアウトの店も寮の近くにたくさんあり、夜遅くまで空いていたのでとても便利でした。ショッピングモールは 17 時頃に閉まるので授業がある日には行けません。薬局は街に出ないとないので、ある程度の常備薬は持って行っていた方がいいと思います。

食事はルームメイト全員で協力し合ってお飯を作っていました。昼食はサンドイッチを作ったり、人によっては寮に帰って食べている人もいました。

雨の日は気温が低いのでセーターにコートを着ても寒く感じました。

5. プログラムに参加して、学んだこと、自分が得たもの、参加前の自分とどう変わったか等

今回初めて海外に行ったのですが、言語の違いがあってもコミュニケーションをとることが出来ると気付くことができました。授業においては、自分の意見を伝える場やプレゼンが多かったため、意見を持つことに積極的になれたと思います。また、初めての共同生活で協調性が身に付くとともに、毎日料理や洗濯などをしてくれている母、このプログラムに参加することに対して、たくさん協力してくれた家族へ感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この 3 週間が充実し過ぎていて、春学期にやりたいことが見つからず、目標のないまま過ごしていた時間がどれだけ無駄だったのか、今までの学校生活について見つめ直す良い機

会となりました。一年生の夏休みの時期に行って気付くことが出来てよかったです。

6. プログラム全体に対する感想、反省

毎日が新しいことだらけでとても充実した日々を送ることができました。しかし、自分の伝えたいことが上手く伝わらず、悔しい思いもたくさんしました。サマープログラムに参加する前にもっと英語の勉強をしておけば、英語を話すことに対して恥ずかしがらずもっと積極的になれたのだと反省すると同時に、自分の語学力の低さを痛感し、もっと勉強しなければならないという強い気持ちを持つことができました。

サマープログラムに参加して、一緒に参加した学園大の人達はもちろん、イギリス人の友人にもたくさん助けてもらい楽しむことができました。イギリス人の友人とは帰国後も SNS で連絡をとりあっていて、私が間違った英語を使っていると正しい英語を教えてくれるので英語の勉強としても役立っています。

さらに、イギリスという国の素晴らしさにも気付くことができましたが、日本の魅力にも気付くことができ、今まで以上に日本のことが好きになったのは自分でも驚きました。今回勇気を出してサマープログラムに参加して本当によかったです。



7. イギリスに持って行った方がいい物、もしくは持って行く必要がなかった物について

レンジで温められるご飯、醤油、コンソメは持って行った方がいいと思います。しかし、それ以外の調味料はイギリスのスーパーで大体は買うことができます。シャンプー、リンス、ボディソープは重いので現地を買った方がいいです。

また、帰りに 23kgを超えてしまう恐れがあるので、キャリーバックとは別に旅行バックがあると便利です。

8. 休暇のプランの立て方や行った場所など詳しく教えてください。

私達は大人数で旅行していたため、最初の頃は行先を早めに決めて、後は行き当たりばったりで旅行していました。しかし、ロンドンではみんな行きたいと思っているところが違ったために少しだけ揉めたので、旅行する時には絶対にプランを決めてから行った方がいいと思い

ました。

8月11日はチェスター、17日はロンドン、24～26日もロンドン、27日はヨークに行きました。チェスターは行き当たりばつりの旅でしたが、歴史的な街並みや城壁がとても素晴らしかったです。1回目のロンドンは、大英博物館、キングスクロス駅、ビッグベンを訪れました。2回目のロンドンではタワーブリッジで夜景が見たかったので、2泊3日で行きました。私達はイギリスの友人に協力してもらって、2泊で4,000円程度の安いホステルに泊まりました。タワーブリッジでの夜景は本当に素晴らしく、私が訪れた中で一番お気に入りの場所です。その他には、バッキンガム宮殿に行き、買い物やアフターヌーンティーをしました。ヨークではハリーポッターのダイアゴン横町のもとになったシャンブルズという通りを中心に訪れました。



9. イギリスに持参した現金の金額とクレジットカードで使用した金額はどれくらい？

現金は日本円で6万円ほど、カードは7万円ほど使いました。